

音楽

児童生徒が自ら感性を働かせ、音楽活動によって生まれる楽しさや喜びを実感する授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- 育成を目指す資質・能力を明確にし、思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている主要要素を焦点化した授業を構想する。
 - 児童生徒の実態把握と十分な教材研究に基づいた題材を構想する。
 - 児童生徒の思考の流れを想定し、創意工夫させる場面と評価する場面を適切に位置付ける。
- 児童生徒が音楽活動と言語活動を行き来できる
- ようにして、音楽表現や鑑賞活動の充実を図る。
 - 曲全体の特徴を捉えることができるよう、聴覚だけでなく、視覚を働かせたり体を動かしたりする活動をねらいに応じて設定する。
- 児童生徒が互いの気付きや感じ取ったことを共有し、自分の感じ方や考え方を広げたり深めたりする場面を意図的に設定する。

互いの気付きや感じ取ったことなどに共感しながら表現を工夫して歌う学習の例

中学校第2学年 題材名 歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう（全4時間）

◇教材曲 「早春賦」

◇学習指導要領の内容 A 表現(1) 歌唱ア、イ(ア)、ウ(ア)及び〔共通事項〕(1)

◇思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている主要要素：リズム、速度、旋律、強弱

◇題材の目標： 「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。（【思考・判断・表現】に関わる部分）

本事例では、第3時に【思考・判断・表現】の評価を位置付けています。知覚した（聴き取った）ことと感受した（感じ取った）こととの関わりについて考えている状況や、表現することへの思いや意図をもつ状況について、観察や発言、ワークシート等から、計画的に指導に生かす評価と記録に残す評価を行います。

また、題材によっては【思考・判断・表現】の記録に残す評価を複数の時間を通して設定したり、場面に応じて複数の評価規準を設定したりすることも考えられます。



第1時・2時

「早春賦」の旋律、強弱を知覚・感受しながら、曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解して歌う。

<歌詞と音楽を形づくっている要素との関連について気付く場面>

T：旋律と歌詞との関わりやリズム、速度などに注目して聴いてみましょう。

S1：最後にリタルダンド（だんだん遅く）していました。言葉を大切に伝えるためだと思います。

S2：同じ歌詞が2回繰り返されたことと、だんだん弱く歌ったことで、まだ春には早いのかなという思いが伝わりました。

T：最後まで速度に注目して聴いたことでリタルダンドの効果に気付いたんですね。また、歌詞に注目したことで、2回繰り返されたことの効果などについて考えることができましたね。

速度の変化や繰り返しの効果などについて、児童生徒の気付きを教師が価値付けることが大切です。

また、気付いたことと感じ取ったこととを関連付け、どのように歌いたいかを考えている姿が見られれば「おおむね満足できる」状況（B）であると判断できます。

1

<自分の考えを再構築する場面>

T：ここでもう一度、自分が考えた表現で歌ったり、友達が考えた表現を聴いたりしながら、自分が考えた表現を見直しましょう。

S2：クレシェンドの仕方がどれも同じでよいのか迷っています。

S3：同じ付け方でクレシェンドをする場合と違う場合を聴き比べると歌詞に合った付け方を考えることができるかもしれません。

S1：情景が思い浮かぶようにテンポをゆっくりにするところを友達と考えたり、自分の演奏の録音から考えたりしてみたいです。

T：タブレットの録音機能を活用すると、様々なテンポ等の聴き比べができますね。

S2：繰り返し自分の演奏を聴くことで、優しいクレシェンドや力強いクレシェンドなどの付け方を工夫した歌い方に行うことができます。

友達の工夫のよさに気付くとともに、自分の思いや意図をより確かなものにし、表現の工夫を見直したりするために、自分の考えを再構築する場面を意図的に設定します。

4

音楽活動と言語活動を行き来させる主な手立てとして、ペアやグループで話し合いをしたり、演奏で試したりする活動が考えられます。その際、1人1台端末を活用することも有効です。

2

<題材のまとめの場面>

T：自分の音楽表現の創意工夫を確認しながら歌いましょう。テンポを変える箇所が明確に決まったり、強弱の付け方を変更したりした場合は、楽譜やワークシートに線やメモなどで書き加え、まとめましょう。

S1：歌い始めにクレシェンドしながら、テンポも少し落ち着かせるという友達の工夫を取り入れ、その後のデクレシェンドを緩やかにする表現を考えることができました。これらの工夫を通して、春が待ち遠しい気持ちを表現することができたと思います。

楽譜やワークシート等にポイントとなる場所に新たに線を引いたり、表現の工夫を適切に加筆したりしている場合は、その内容に応じて評価に反映させます。

14

